社会福祉学科 AP

社会福祉学科は、現実社会のあらゆる生活上の諸問題を解明し、より良い社会のあり方を考え、それを築くための実践的な方法を学ぶ学科である。専門の学びで身につけたコミュニケーション力・分析力・判断力を通じて、より良い社会の担い手として実践的に活躍できる人物の育成を目指している。

本学科が求める学生像は、以下のとおりである。

【求める学生像】

・社会問題に関心があり、その解決のための実践的な方法を深く学びたいという意欲がある人
・他者と関わりをもつことに興味があり、共感的態度で他者を理解する重要性を認識している人
・生活上の諸問題をかかえる人々への社会的支援のあり方に関心がある人
・知的好奇心と探求心をもち、主体的に学修や研究に取り組む意欲がある人
・多様な価値観や自分とは異なる感性を柔軟に受け入れられる人として、社会で活躍したいと望む人

【高等学校段階までに修得すべき学力】

・社会科（公共、地理歴史等）や国語の十分な基礎学力
・英語の読解力
・論理的に物事を考える基礎的な思考力と、自分の考えをまとめ他者に正しく伝える基礎的な表現力
・他者とコミュニケーションを取り、協働して物事に取り組む力

上記の学力を身につけているかを判定する入学者選抜試験を以下の基本方針で行う。

(1) 一般選抜

一般選抜では、各入試区分で課している科目における基礎的な知識を身につけているかを、思考力および表現力も加味しながら判定する。

・一般選抜（個別選抜型）

筆記試験により、国語、外国語（英語）に加え地理歴史・数学における基礎的な知識を身につけているかを、思考力および表現力を加味しながら判定する。

・一般選抜（英語外部試験利用型）
　英語外部試験を利用して英語の４技能をバランスよく十分に修得しているかを判定する。さらに、筆記試験により、国語に加え地理歴史・数学の基礎的な知識を身につけているかを、思考力および表現力を加味しながら判定する。

・一般選抜（大学入学共通テスト利用型（前期３、４科目型））
　大学入学共通テストの国語、外国語に加え地理歴史・公民・数学・理科のうち１科目の計３科目の試験によって、それぞれの科目における基礎的な知識、思考力および表現力を身につけているかを判定する。

・一般選抜（大学入学共通テスト利用型（前期５科目型））
　大学入学共通テストの国語、外国語に加え地理歴史・公民から２科目、および数学・理科・情報から１科目の計５科目の試験によって、それぞれの科目における基礎的な知識、思考力および表現力を身につけているかを判定する。

・一般選抜（大学入学共通テスト利用型（後期））
　大学入学共通テストの国語、外国語に加え地理歴史または公民・数学・理科・情報のうち１科目の計３科目の試験によって、それぞれの科目における基礎的な知識、思考力および表現力を身につけているかを判定する。

(2) 総合型選抜
　総合型選抜の第一次選考では、調査書を用いて高等学校等における取り組み状況を調査し、高等学校までに修得すべき学力、探求心、主体性および協働性を総合的に判定する。また、全学科共通課題を通して主体性、論理的思考力および表現力を判定する。
　第二次選考では、小論文により現実社会の諸問題に関する基礎的な理解、論理的な思考力、判断力、文章表現力を見る。さらに、口述試験では相手の言葉を受け止め理解したうえで、自らの考えをまとめ明晰な言語で正しく伝える能力などを審査する。以上を通して総合的に判定する。

(3) 学校推薦型選抜
　高等学校等学校長によって推薦された人は、高等学校までに修得すべき基礎的な学力を有していると判断する。小論文により現実社会の諸問題に関する基礎的な理解、論理的な思考力、判断力、文章表現力を審査する。また、出願書類とグループディスカッションまたは口述試験により探求心、学修意欲、主体性、協働性、相手の言葉を受け止め理解したうえで自らの考えをまとめ明晰な言語で正しく伝える能力などを審査する。以上を通して総合的に判定する。

・学校推薦型選抜（附属高等学校推薦）
　日本女子大学附属高等学校長が推薦する人を対象に、出願書類と面接試験により総合的に判定する。

・学校推薦型選抜（指定校制／連携校）
　本学科が指定する高等学校（指定校／連携校）の学校長が推薦する人を対象に、出願書類とグループディスカッションにより総合的に判定する。

・学校推薦型選抜（公募制）
　高等学校長が推薦する人を対象に、出願書類・小論文・口述試験により基礎学力、探求心、学修意欲、主体性、協働性、現実社会の諸問題に関する基礎的な理解、論理的な思考力、判断力、文章表現力、相手の言葉を受け止め理解したうえで自らの考えをまとめ明晰な言語で正しく伝える能力などを審査する。以上を通して総合的に判定する。

(4) 外国人留学生
　日本留学試験の日本語、総合科目の試験によって、学修に必要となる十分な日本語能力を有しているかを判定する。出願書類および口述試験により、具体的に学びたい現実社会の諸問題、探求心、学修意欲、主体性、日本語能力、他者と議論する力、協働性および学んだことを卒業後にどのように活かしていきたいかを確認する。以上を通して総合的に判定する。

(5) 編入学・学士入学
　大学・短期大学・高等専門学校を卒業した人（見込みを含む）や他大学在学中の人を対象に小論文試験を行い、現実社会の諸問題に関する基礎的な理解、論理的な思考力、判断力、文章表現力および大学 2 年次もしくは 3 年次に相当する専門的な知識を有しているかを審査する。また、出願書類と口述試験により探求心、学修意欲、主体性、協働性、相手の言葉を受け止め理解したうえで自らの考えをまとめ明晰な言語で正しく伝える能力などを審査する。以上を通して総合的に判定する。

(6) 社会人
　本学の定める社会人入学試験の資格要件を満たす 22 歳以上の人を対象に小論文試験を行い、現実社会の諸問題に関する基礎的な理解、論理的な思考力、判断力、文章表現力を審査する。出願書類と口述試験により探求心、学修意欲、主体性、協働性、相手の言葉を受け止め理解したうえで自らの考えをまとめ明晰な言語で正しく伝える能力などを審査する。以上を通して総合的に判定する。